

岩沼出張所工事情報 NO.8



—阿武隈川下流亘理地区堤防整備外工事—

本工事は、災害時等に使用する応急復旧資材の備蓄と、低平地である亘理地区において浸水被害を抑制する為に堤防強化を図る工事であり、平成29年8月10日に完成しました。

(工事施工場所:逢隈田沢・小山 地内)

～逢隈田沢地内 災害資材置場設置工事～

逢隈田沢地内では、災害時等に堤防や護岸の応急復旧(堤防法面の保護や低水護岸の洗掘防止など)に使用するブロックを備蓄しました。

応急復旧資材として、連結ブロックは2,100個、消波・根固めブロックは100個備蓄しました。

■工事施工状況■

—連結ブロック—



【施工前】



【施工後】

—消波・根固めブロック—



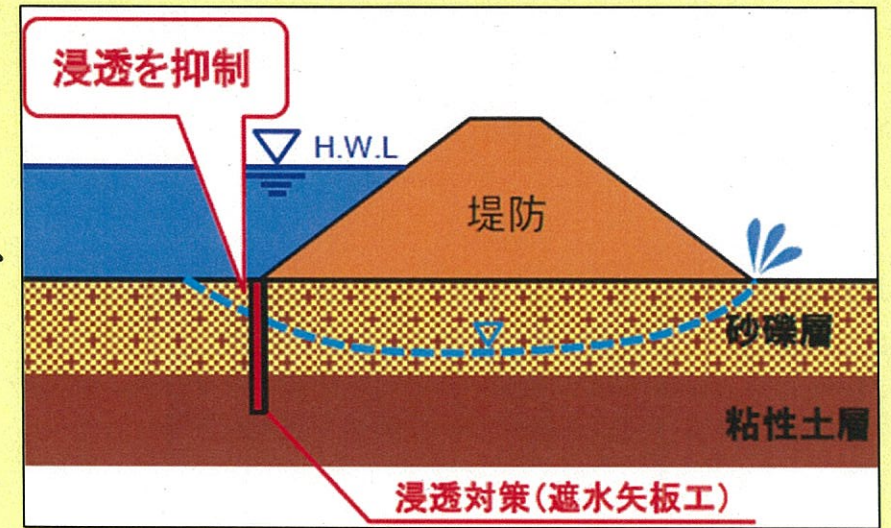
【施工前】



【施工後】

～小山内 矢板打込み・堤防工事～

小山内では、堤防基礎地盤の浸透に対する安全性を高めるため鋼矢板(約10m)を打込みました。併せて、堤防の幅を広くし堤防強化工事を施工しました。工事施工内容は、①土を掘削し鋼矢板を打込み、②鋼矢板の上に法留ブロックを設置、③築堤盛土前に土のかみ合わせを高めるための段切り、④土を締め固めながら築堤盛土を行い、⑤法面保護のため張芝を施工、⑥最後に天端敷砂利を施工の流れで工事を進めました。堤防の幅が広がったこと、矢板により河川水浸透を抑制することで壊れにくい堤防となり、以前にも増して安心・安全性が高まりました。



【工事施工 イメージ図】

■工事施工の流れ■

